

政策集・31万人元気都市宣言！		評価記号	評価	具体的な成果・取り組み		
1	子育て・教育支援	1	子ども医療費窓口負担ゼロを実現します。 現在、中学生までの医療費は無料化（所得制限あり）されていますが、三重県の方針により一旦窓口で医療費を支払い、その後還付が行われる仕組みを取っています。今後、四日市市単独であっても子ども医療費窓口負担ゼロを実現させます。	◎	達成	平成30年4月診療分から未就学児への子ども医療費窓口負担の無料化を実現しました。 さらに、令和2年9月からは所得制限を廃止するとともに、小・中学生に対しても窓口負担の無料化を実現しました。
		2	中学校の完全給食を実現します。 食缶方式による中学校給食導入により、子ども達への食育推進をおこないます。	○	進行中	令和5年4月からの食缶方式による中学校給食の実現に向け、現在、PFI方式による中学校給食センターの整備を進めています。
		3	待機児童ゼロを目指します。 三重県の待機児童のおよそ6割を占める四日市。待機児童数県下ワースト1の現状を打開し、子育てのまち四日市を目指します。	◎	達成	平成31年4月1日時点において、待機児童数のゼロを達成しました。引き続き、年度途中における待機児童の解消に向けて更なる取り組みを進めています。
		4	不登校児童生徒に対して、きめ細やかなサポート体制を充実させます。 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの追加配置を行い、全国平均を上回る不登校児童生徒割合を引き下げます。	○	進行中	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の充実を図るとともに、不登校児童生徒が通う「登校サポートセンター」のリニューアルや機能強化を図りました。 さらに、不登校対応教員の配置など、不登校発生率を下げするための取り組みを引き続き行っていきます。
		5	小中学校の空き教室の学童保育所への積極活用を進めます。 閉鎖的であった学校施設を開かれた学校に変えていきます。まずは、学童保育所の学校内設置を積極的に推し進めていきます。	○	進行中	「市立小中学校における余裕教室活用方針」を策定し、学童保育所による学校施設や学校敷地の利活用を推進しました。
		6	四日市独自の教育プログラムを構築し、学力・体力の向上を図ります。 授業の組み替えや授業コマ数の増加により、四日市独自のカリキュラムを構築し、学力・体力向上に向けたカリキュラムを導入します。また、道徳教育にも時間を費やします。	○	進行中	新学習指導要領への対応や Society5.0 と称されるこれまでにない社会の到来などの新たな課題に向けて、独自の「四日市市新教育プログラム」を策定し、就学前～小学校～中学校の期間における一貫した教育活動を進めています。 プログラムに位置付けた6つの柱に基づき、「夢と志を持ち自らの未来をつくるよっかいちの子ども」の育成に向けた教育を展開しています。
		7	子育て世代支援の充実を図ります。 子育てステーションを開設し、お父さん、お母さんの子育ての悩みやコミュニティの構築を図ります。また、子育て世代が働くことが出来る時短勤務の推奨を企業に対して働きかけを行い、市としてもサポートしていきます。	○	進行中	こども子育て交流プラザ、児童館、子育て支援センター等で交流や相談を実施するなど、「子育てするなら四日市」の実現に向け、各子育て施策の充実を図っています。また、企業向け研修や表彰等を行うなど、子育て世代に向けたワークライフバランスの取り組みの促進も図っています。 ◇拡充実績 子育て支援センター： H28 17箇所→H30 20箇所 子育てコンシェルジュの配置： H28 1箇所→H30 4箇所 病児保育室： H28 1箇所→R01 3箇所
		8	地域間競争につながる朝明中学校の移転を中止し、大矢知興譲小学校単独での教育環境改善を図ります。	◎	達成	朝明中学校の移転を中止するとともに、大矢知興譲小学校の教室不足に対しては、必要な増築を行うよう現在設計を進めています。
		9	2021年三重国体を目指し、施設面の整備に加えトップアスリート育成支援に力を入れていきます。	○	進行中	三重とこわか国体・とこわか大会の開催に向け、総合体育館、中央フットボール場、霞ヶ浦第3野球場、四日市テニスセンターを整備しました。 トップアスリートによるスポーツイベント等を実施するなど、スポーツ振興やスポーツを通じた元気なまちづくりを進めています。

政策集・3 1万人元気都市宣言！		評価記号	評価	具体的な成果・取り組み		
2	産業振興	10	水素エネルギー等のクリーンエネルギーを活用した、世界最先端技術が集積するスマートタウン構想を推し進めます。	○	進行中	臨海部における水素活用状況の調査を行った上、コンビナートの先進化の検討の中で引き続き調査研究を進めています。あわせて、環境計画を改定し、スマートシティ構想を盛り込みました。また、本市の臨海部企業も参加する「中部圏水素利用協議会」が立ち上げられており、水素利用推進に向けた更なる取り組みが期待されます。
		11	入札制度改革を実施し、地元企業の新たなビジネスチャンスを生み出し、企業の育成、競争力強化につなげます。 民間が出来る事は民間に。地元企業で出来る事は地元企業に。地元企業に多くの機会を提供し、企業の競争力強化につなげます。	○	進行中	入札における発注基準を見直し、地元企業への優先発注を位置付けました。また、工事発注における総合評価方式においても、地域・社会貢献度を評価基準に盛り込むなど、地元企業の参加機会を増やす取り組みを行っています。
		12	中小企業の新規参入事業に関する研究開発費の補助枠を最大1,000万円まで拡大します。 新たな事業分野に挑戦する際に必要な試験研究に対して行政が全面的にバックアップし、中小企業の新規事業開拓の機会を創出を図ります。	○	進行中	中小製造業者の新技術・新商品開発を後押しするよう「新規産業創出事業費補助金制度」により、研究開発を促進しています。平成29年度から航空宇宙、ヘルスケア、IoT産業などの新たな成長分野に対する補助上限額を拡充するなど、支援の充実を図っています。(令和2年度予算額 1,600万円)
		13	中小企業の競争力低下を招いている事業所税の実質的な減免措置を行います。	△	他施策による取り組み推進	課税自主権について国に要望するとともに、販売力強化支援、人材確保支援、海外販路開拓支援等といった中小企業振興に向けた各種補助メニューを展開しています。また、新型コロナウイルス感染症対策にかかる事業所税減免について国に要望を行っているところです。
		14	市街化調整区域における柔軟な土地活用を図り、企業誘致を積極的に実施していきます。	○	進行中	積極的な企業誘致を行い、キオクシア(旧東芝メモリ)第6製造棟及びメモリ開発センター竣工や第7製造棟建設に向けて土地造成着手、サンレックス工業の増設といった企業が本市にて事業を拡大していただきました。
		15	停滞している新保々工業団地の積極活用を図ります。	△	他施策による取り組み推進	土地開発公社の解散の取り組みを進めるとともに、新保々工業用地については、道路整備を条件とすることを含めた素地売却といった活用方策について検討を行い、事業化に向けた取り組みを進めています。
		16	世界で戦える四日市の農業を目指し、グローバルギャップ等の国際認証の取得についてのサポート体制を構築します。	○	進行中	農業再生戦略会議にて調査検討を進めるとともに、平成30年度よりGAP等認証取得推進事業費補助により支援を進めています。(補助金交付実績：H30 6件、R01 11件)
		17	遊休農地の解消に向けた「農地バンク」を行政主導で設置し、農地の集約、再活用を図ります。	○	進行中	「農地バンク」により農地を登録し、借り受け希望者に紹介を進めています。
3	地域力の向上	18	安心安全都市を目指します。 危機管理室と各地域との連携を強化し、地域別のリスク情報の共有を図ります。企業の協力や県との連携により、コンビナート群の地震・津波対策を強化し、推進します。	○	進行中	地域におけるワークショップを開催し、ハザードマップを整備するなど、自助・共助・公助の取り組みを推進しています。また、「四日市市石油コンビナート・沿岸地域防災連携会議」により意見交換を行い、連携協力体制を構築し、防災に強いまちづくりを進めています。
		19	地域まちづくり構想を策定した地区において、構想実現のためのサポート体制を整えます。	○	進行中	市の行う計画と住民が自ら行うまちづくりを合わせた「地域・地区別構想」の策定を進めています。活用できる支援制度等を紹介するとともに、構想に基づいた公的に必要な整備を行っています。
		20	森ともひろの原点！市長自らが現場に赴き生の声を拾う、タウンミーティングを地区ごとに毎年実施します。	◎	達成	市長自らが各地域に出向いてタウンミーティングを開催しました。「子育て・教育」「シティプロモーション」「新総合計画」をテーマに住民の声を直接伺い、意見交換を行いました。
		21	少子高齢化が進む団地において、市営住宅の整理等を実施し、民間の活力を用いた団地再生を推し進めます。	○	進行中	高花平5丁目では、除却した市営住宅跡地を売却し、新たな活用を図りました。令和2年度には、住宅団地再生事業として、坂部が丘賃貸住宅跡地への公園新設や、旧笹川西小学校跡地の活用の検討を進めています。また、四日市大学と協定を締結し、あさけが丘市営住宅に大学生が居住し、地域活動に参加する取り組みを推進しています。
		22	地域が地区計画の策定に踏み出す際に行政が全面的にバックアップし、市街化調整区域における土地活用の実現可能性を高めていきます。	○	進行中	小林地区(H30)、上海老地区(H30)、中村工業地区(R02)にて、地区計画制度を活用し、地域や企業の提案や協議を踏まえ、新たな土地利用が図られるよう取り組みを進めました。
		23	市内全域における公共交通のニーズを把握し、新たな公共交通の在り方について調査を行います。	○	進行中	公共交通の在り方については、タクシーを利用した予約に応じて運行するデマンド(需要応答型)交通について検討するための社会実験を実施するなど、調査研究を進めています。

政策集・31万人元気都市宣言！		評価記号	評価	具体的な成果・取り組み	
4	市役所改革	24	◎	達成	「統一的な基準による財務書類」の作成や、「施設別行政コスト計算書」の作成を行い、行政におけるコストの明確化を図りました。また、公認会計士を会計専門監として採用し、専門的な知見を活用した行財政改革を行っています。
		25	○	進行中	新たに全職員を対象とした職員アンケートを実施し、現場の声を聴き、業務改善につなげています。
		26	○	進行中	市長及び管理職によるイクボス宣言を行うとともに、働き方改革推進本部を設置し、時間外削減に向けた取り組みを推進するなど、市役所におけるワークライフバランスの充実を図っています。(男性職員の育児休業等取得率：H28 67.7%→H30 83.6%)
5	まちの賑わい	27	○	進行中	近鉄四日市駅・JR 四日市駅周辺において、中央通り等も含めた駅前広場等の整備を行うため、基本計画の策定を進めています。
		28	○	進行中	四日市港を開かれた港にし、港を活用した観光客誘致に力をいれます。
6	福祉・医療	29	○	進行中	障害者雇用奨励金や障害者トライアル奨励金を拡充するなど取り組みを進め、障害者雇用率は改善傾向にあります。(四日市公共職業安定所管内における障害者雇用率：H28 2.05%,H29 2.07%,H30 2.27%)
		30	○	進行中	認知症初期集中支援チーム、物忘れ相談会、認知症カフェ、認知症地域支援推進員等の認知症総合支援事業を推進し、認知症の人や家族が安心して暮らせるまちを目指しています。
		31	○	進行中	在宅介護支援センターや地域包括支援センターによる支援に加え、医療・介護関係機関の連携を図り、切れ目のないサービスを提供する体制を構築しています。
		32	○	進行中	北勢地域の中核病院（DPC 特定病院群指定、地域がん診療連携拠点病院指定）として、市立四日市病院の医療環境の向上に向け、施設改修・医療機器の更新・人員配置を進めています。具体的には、高精度放射線治療棟整備や手術支援ロボット（ダビンチ）の導入導入を行うなど高度化を図ってきました。また、救急患者応需率〔救急搬送の受け入れ依頼に対して実際に受け入れた件数の割合〕は、平成28年度の88.4%から令和元年度には93.2%と伸びてきています。
		33	○	進行中	胃がん検診の取り組みについては、胃内視鏡検査判定における二重読影を新たに取り入れました。また、令和3年度からは、胃がん予防に向けた中学生におけるピロリ菌検査を実施できるよう取り組みを進めています。
		34	○	進行中	介護予防・日常生活支援総合事業の立ち上げ・運営支援や、生活支援コーディネーターの配置など、地域包括ケアシステムを構築しています。(総合事業 住民主体サービス数：25か所〔令和2年6月〕)
7	トップの姿勢	35	◎	達成	東京をはじめ各地へトップセールス（就任後3年で計79回）を行い、シティプロモーションを展開するとともに、ふるさと納税メニューを刷新やこにゅうどうくんによるプロモーションなど様々な取り組みを推進しています。
		36	◎	達成	シティプロモーション部、広報マーケティング課を設置し、観光交流課や東京事務所とともに広報・シティプロモーション活動を積極的に展開しています。
		37	◎	達成	市役所各職場における市長の朝礼参加や、市長とのランチミーティングを実施するなど、部署・役職の区別なく職員とのコミュニケーションを図っています。(朝礼参加：就任後全職場を2巡し、現在3巡め)

37項目中、 ◎達成：8、 ○進行中：27、 △他施策で推進：2、 ×未実施・未着手：0